

22. Windows 11のインストール

22-1 USBメモリでインストール

➡Windows 11 リテール版のUSBメモリや、自分で作成したインストール用USBメモリをPCのUSBポートに挿し込み、インストールウィザードを起動する。



22-3 ネット接続が必須



➡Windows 11は、インストール時にネットワーク接続が必要となる。標準ドライバーで動作しない有線/無線LANの場合、手動でドライバーを導入する必要がある。

22-4 インストールが完了



➡必須となる「Microsoftアカウント」の新規作成、既存アカウントの入力など、ウィザードに従って進めば、Windows 11のインストールは完了する。

CHECK! AMDの最新ドライバーを導入しよう



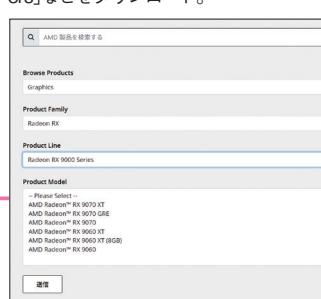
最新バージョンをダウンロード

➡AMDウェブ※1の「リソース&サポート」「ダウンロード」の「Radeonグラフィックス & AMDチップセット」にある「ドライバー」をクリックする。

ドライバーを保存する



➡CPUの動作にも影響するチップセットドライバー「AMD Chipset Drivers」などをダウンロード。



22-2 ウィザードに従って進めよう

➡指示に沿ってインストールを進めよう。インストールするストレージを選択する画面では、デフォルト（ディスク0）のまま「次へ(N)」をクリックして進めよう。



➡マザーボードのサポートウェブサイトから、LANドライバーをダウンロード。解凍後、USBメモリに保存しておこう。



22-5 最新ドライバーを自動で導入



➡OS初回起動時に、「Auto Driver Installer」を導入しよう。必要となるドライバーを自動で検索、導入するので安心だ。

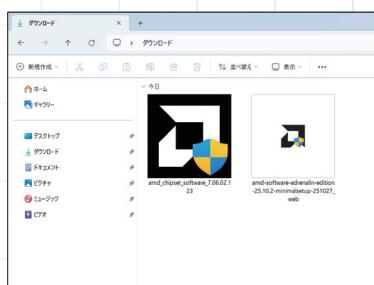
適切なドライバーを検索する

➡「Graphics」と「Chipsets」で、ビデオカードのGPU型番や、マザーボードのCPUソケット形状などを選択していくと、適切なドライバーが表示される。



2つの.exeファイルを実行しよう

➡ダウンロードした「amd_chipset_software_~.exe」と、「amd-software-adrenalin-edition-~.exe」を実行。ウィザードに従ってインストールする。



※1 <https://www.amd.com/ja>